



1. 製品および会社情報
製造者情報

会社名：(有) パシフィック化学
住所：〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-48-2
電話：03-3986-1578 FAX：03-3971-2613
作成/改正：2008年11月3日/2017年11月27日

整理番号 FC-500EX・18EX
製品名 フィルムクリーナーEX
物質の特定 混合物

2. 危険有害性の要約

ラベル要素： 危険

GHS 分類	分類結果	危険有害性情報
引火性液体	区分 2	引火性の高い液体及び蒸気
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A	重篤な眼への刺激
皮膚腐食性/皮膚刺激	区分 2	皮膚刺激
吸引性呼吸器有害性	区分 1	飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分 3	呼吸器への刺激のおそれ、眠気やめまいのおそれ
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分 2	長期又は反復暴露による肝臓の障害のおそれ

3. 組成および成分情報

化学名	CAS No.	国連番号	含有量	PRTR 法
n-ヘプタン	142-82-5	1206	50~60%	非該当

国連分類 : クラス 3
労働安全衛生法(通知対象物質) : No. 524 ヘプタン
化学物質管理促進法(第一種及び第二指定化学物質) : 該当なし
毒物及び劇物取締法 : 該当なし

4. 応急措置

—製品—
目に入った場合：直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
皮膚に付いた場合：石鹸を使って大量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
大量に吸収した場合：直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静に努める。その後医師の手当てを受ける。
誤飲した場合：無理に吐かせてはならない。医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

—製品—
消火方法：火元の燃焼元を断ち、消火剤を使用して消火する。
消化剤：粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、アルコールが有効です。

6. 漏出時の措置

—製品—
ウエス等で拭き取り、密閉できる容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

—製品—
取り扱い：皮膚、粘膜・着衣に触れたり目に入らないようにする。作業場は、換気を十分に行なう。
保管：直射日光、火気を避け密栓し、換気の良い冷暗所に保管する。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：400 ppm
許容濃度：日本産業衛生学会勧告値(1991) 400 ppm
ACGIH(1991) TWA 400 ppm
設備対策：使用後は直ちにキャップを閉める。又は局所排気装置を設置する。
保護具：状況に応じ有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋等を使用する。

9. 物理的および化学的性質 —製品—

外観:	透明液体	臭気:	特異な臭気
比重:	0.6	沸点:	98℃
融点:	-95℃	蒸気圧:	101 mmHg (20℃)
蒸気密度:	2.8	溶解度:	水; 不溶
PH:	7	有機溶剤:	可溶

10. 安定性および反応性 —製品—

引火点:	1℃	発火点:	230℃
爆発範囲:	1.1~6.7 vol%	安定性・反応生:	安定

11. 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

健康: 蒸気は、めまいや窒息を引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性・刺激性

健康: 吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

毒性の数値的尺度 (急性毒性推定値など)

吸入毒性

(ヘプタン): ヒト TCL0 1000ppm/6M

12. 環境影響情報

魚毒性: 現在知見なし

分配係数: 現在知見なし

13. 廃棄上の注意

本製品は、産業廃棄物に該当する。処理を委託する場合は、廃棄物処理業の免許を持った業者へ、産業廃棄物管理票を添えて依頼する。

14. 運搬上の注意

1 m以上の場所から、投げたり落としたりしないようにして下さい。
40℃以上の場所に放置しないで下さい。

15. 適用法令

—製品—

労働安全衛生法:	引火性の物	有規則:	なし
消防法:	第4類第1石油類		
危険物船舶運送及び貯蔵規則:	引火性液体		

16. その他の情報

引用文献等

- ① 化学工業日報社 : 12000の化学商品
- ② 中央労働災害防止協会 : 有機溶剤作業主任者テキスト
- ③ 有機化合物事典 : 朝倉書店
- ④ 製品評価技術基盤機構
- ⑤ 安全衛生情報センター

販売商品仕様書

特定品の場合の名称 消防法 表示義務あり 労安法 表示義務なし

容器形態及び材質 500cc×12・20本入 バレックス 缶 18L

- 保管取扱の注意事項
- ① 印刷技術者以外の使用は、避けて下さい。特に幼児の手の届かない所に保管して下さい。
 - ② 使用後は、キャップを必ずして下さい。

* 記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。